

平成 20年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	化石燃料ゼロハウス「風の学舎」を拠点とした温暖化防止推進および地域活性化事業
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人いいだ自然エネルギーネット山法師 飯田市下久堅下虎岩 2235 090-8687-8517 事務局平澤
事業区分	(環境保全、景観形成)
事業タイプ	ハード/ソフト
総事業費	1,796,000円 (うち支援金: 394,000円)

事業内容

1 温暖化防止セミナー・講演会

20年11月と21年3月に住宅から環境問題を考えるをテーマに温暖化防止セミナーを行いました。延べ50人余の参加がありましたが、特に3月の講演と民家の視察は予想以上の盛況でした。

20年11月末には、月尾東大名誉教授をお招きし「地域再生の戦略」と題して講演会を行いました。市民100人の参加の中、環境を守る上で地産地消の大切さについて学びました。

2 キャンドルナイト

20年6月と12月に全国の運動に合わせて100万人のキャンドルナイトを実施しました。

12月は、竹宵とキャンドルづくりを行い子供達も参加して賑やかにできました。

3 炭焼小屋の完成

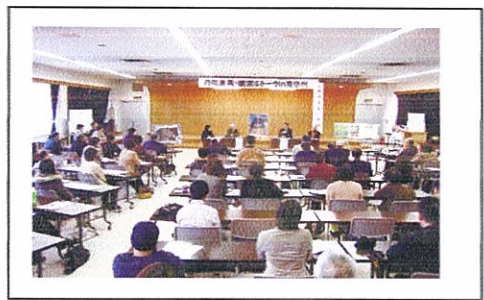
風の学舎で使用する炭を自前で調達するため、20年9月から翌年3月にかけて炭焼小屋を作りました。専門家の指導により完成することができました。火入れは、薪を集めて秋になる予定。

4 研修視察

20年11月に自然エネルギーの利用機器等を製作し普及している関市の発明家「風の進路」の奥田さんの展示会と恵那市大牧の風力発電を視察しました。

5 スローライフ体験のための利用

20年5月オープン以来、約780名の利用がありました。これからも、若い世代を中心にPRしていきたいと思ひます。



【20.11 温暖化防止講演会】



【20.12 キャンドルナイト 竹宵づくり】



【21.3 炭焼小屋完成】



【20.11 研修視察】

自己評価 (事業実施率) 【100%】

事業効果

講演会は100名余の参加。セミナーは第1回が20名、第2回が30名の参加。環境共生住宅への関心が高かった。

キャンドルナイトは、6月には約1万人の参加。国道沿いの事業所の大半の灯りがハッキリと落ちた。

12月は手作りキャンドルづくりに親子約30名参加し盛況だった。

炭焼竈は、予定通り完成。火入れは、今年秋。

研修視察は、奥田さんが考案した太陽光を利用した様々な実験器具などとても参考になったほか、大牧の巨大風車の下では爆音に近い音がしてとても近隣に居住は難しいことがわかった。今後太陽光を活かした子供向け科学実験装置なども検討していきたい。

【目標・ねらい】

- セミナーの参加者50名
- 風の学舎の利用者年200名以上
- ライトダウン企業参加100社以上
- 温暖化防止と地域活性化

自己評価 (目標達成率) 【A】

今後の取り組み

フードマイレージやウッドマイレージからもわかるように、暮らしに地域の資源を有効活用することが、CO2の削減につながるとともに、衰退している中山間地域の活性化にも資する。

次年度以降も地域の資源で家づくりを柱の1つに据えて普及啓発事業に取り組むと共に、暮らしや農林業などの知恵や技術を持つ地元の人達を田舎名人として登録し、体験学習事業を引き受けていきたい。

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。